

加賀電子株式会社
2025 年 3 月期（第 57 期） 第 3 四半期 決算

主な質問と回答

決算発表日： 2025 年 2 月 6 日（木）

＜ご留意事項＞

当社は第 3 四半期においては決算説明会を開催していませんが、決算発表後のアナリスト、投資家との IR 面談での質疑応答を「主な質問と回答」としてまとめました。全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

質問： 会社計画に対して、「売上高 10 億円、営業利益 15 億円上振れている」との説明だが、その要因は何か。業績予想は修正しないのか。

回答： 会社別では加賀電子が、セグメント別では電子部品事業の中の EMS ビジネスが、徐々に在庫調整の解消が進み、全般に回復に向かっていきます。また、その他事業においてアミューズメント機器の販売が好調に推移し、計画比上振れとなりました。一方、通期予想については、一部業界においてまだ在庫調整の長期化が懸念され、先行きを見通し切れず、前回予想を据え置きました。

質問： メキシコ新工場では米国の関税政策の影響はあるか。

回答： メキシコ工場の売上高は、メキシコ国内にあるお客様の工場への出荷が大半であり、米国への直接販売は 1 割程度であることから、現状では関税影響は軽微であると見込んでおります。しかしながら、関税政策によって米国内での最終製品の価格上昇によりお客様製品の需要が減少する可能性があり、その場合は当社取引への影響は出てくると考えられます。

質問： 加賀 FEI の営業利益が大幅減益となっている要因は何か。

回答： 売上減少および販売ミックスの悪化に伴う売上総利益率の低下による売上総利益の減少に加え、賃上げ影響による販管費の増加などにより、前期比で大幅な減益となりました。

質問： 電子部品ビジネスにおいて顧客の業界ごとの状況と見通しは。

回答： 電子部品ビジネスにおいては、徐々に在庫調整の解消が進み、回復に向かっておりますが、一部の顧客においてはいまだに在庫調整が長引いております。EMS ビジネスにおいては車載関連向けが引き続き堅調であり、産業機器向けも在庫調整から回復してきております。なお、空調機器向けが主要顧客における在庫調整が長期化しておりますが、EMS ビジネス全体では第 2 四半期から回復傾向となっており、この流れは下期も継続すると考えております。

以上